

データ収集研究 「日本全国のデータに基づいたアンチバイオグラム作成」の概要

研究の目的・意義

アンチバイオグラムは、感染症の経験的治療や感染対策上重要なツールであるが、その作成方法は統一されておらず、施設間の比較が困難であった。しかし、日本版アンチバイオグラム作成ガイドライン(JAG)が2019年4月に新たに公開されたことにより、統一したデータの収集が可能となった。本研究では、ガイドラインに準拠したアンチバイオグラムを日本の多施設から収集することにより、日本全国のデータに基づいた正確なアンチバイオグラムを作成することを目的とする。

本研究により、主要な感染症起炎菌の正確な薬剤耐性率が明らかとなり、各種感染症の初期治療薬のガイドラインの作成や、国際・国内間でのデータ比較を通じ院内感染対策に貢献もできる。また、日本におけるアンチバイオグラム作成の実態把握やJAGの改訂に必要な意見の収集も期待できる。

対象施設

日本国内の医療機関または検査センター（衛生検査所）

実施期間

2019年5月1日～2020年6月30日

参加方法

JAGに準拠して作成した自施設の①アンチバイオグラムと②データ収集シートを、emailまたは郵送により提出する。

①2018年1月～12月、②2019年1月～12月の期間を対象としたアンチバイオグラムを推奨するが、該当しない場合も参加は可能とする。

データ収集シートはEXCELファイルで、ホームページ上からダウンロードし、施設、微生物検査、アンチバイオグラムの作成に関する情報を施設側に支障がない範囲で入力する。本研究に関わる施設の費用負担、研究参加に対する謝礼はない。

(提出先)

研究責任者 京都大学 松村康史

Email : yazblood@kuhp.kyoto-u.ac.jp

郵送 : 〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部附属病院検査部

結果の公表

日本全体のアンチバイオグラム作成とデータ収集シートで得られた情報の集計を行い、AMR臨床リファレンスセンターのウェブサイト上、各学術集会にて結果を公表する。また、査読のある雑誌へ論文を投稿する。

データの取扱い

研究対象施設の秘密保護に十分配慮する。研究対象施設には研究用IDを割り、元データからは施設名を削除し、研究に用いる。研究の結果を公表する際は、施設名を特定できる情報を含まないようにする。また、研究の目的以外に、研究で得られた試料・情報を使用しない。

問い合わせ先

AMR臨床リファレンスセンター

〒162-8655

東京都新宿区戸山1-21-1

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター

E-mail:amr@hosp.ncgm.go.jp

研究組織

・研究責任者

京都大学医学部附属病院 検査部・感染制御部 松村康史

・研究分担者

国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター 情報・教育支援室 具芳明、藤友 結実子

長崎大学病院 検査部 赤松 紀彦

広島大学病院 診療支援部（感染症検査部門） 榎山 誠也

東京大学医学部附属病院 感染制御部 佐藤 智明

札幌市病院局 市立札幌病院 検査部 高橋 俊司

福島県立医科大学 新医療系学部設置準備室 豊川 真弘